

沖縄振興交付金事業等の内閣府点検評価結果

（令和4年度 期中点検）

| 事業名 | 留意事項 |
|--|--|
| <p>【沖縄県】 アジア IT ビジネス 活性化推進事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・採択のなかった事業メニューについては、その要因を分析し、今後の改善に繋げて欲しい。 ・採択なしとしないようにするため、例えば、事業に関する広報活動の充実、効果的なマッチングを果たすための方策、ICT 利活用のメリットの啓発等について一層努めて欲しい。 ・採択された事業の中には既存商品に類似するものも見受けられ、独自開発とは言い難いものも含まれているため、採択時に既存商品との差別化が図られているのかを確認することも検討してはどうか。 ・IT 事業者の研究開発や新規事業創出を推進するための「シーズ」の発掘、開拓に関する研修等の実施も検討してはどうか。 ・事業の効率性・有効性をより高めることを前提にした「より挑戦的な成果目標」を掲げて欲しい。 ・成果目標について、短期の事業化実現が難しい特徴があることを踏まえ、例えば、平均的な事業化までの支援年数に対し何年で支援を完了できたのか、事業化によって期待できる経済波及効果に関する各年度の実現可能性の状況等といった、より細かな分析や、生産性の上昇度を測定できる金銭的指標を取り入れることも検討してはどうか。また、海外展開の成果が分かる成果目標も加えてはどうか。 |
| <p>【沖縄県】 沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・産学官の信頼関係の醸成が重要であり、継続的にコーディネート業務に携わることができる人材の確保に努めて欲しい。 ・先端的な研究成果を多数発表している OIST との連携が一層行われる仕組みを検討して欲しい。 ・事業化に至らなかった場合について、事業採択の基準や支援の在り方等も含めた検証も検討してはどうか。 ・成果目標は、共同研究の件数の多さではなく、より多く事業化・製品化に繋げることではないか。そのための成果指標を設定すべきである。また、事業化・製品化までに時間を要するものについては、事業化準備に当たりどの段階まで支援が行えたか等の達成度等を指標に加えることも検討してはどうか。 |
| <p>【沖縄県】 外国人観光客受入体制強化事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で外国人観光客が少ない今のうちに、外国語対応能力を更に高めるための施策の実施に一層努めて欲しい。 ・外国人観光客受入に対する県民の意識向上（コロナ禍を踏まえた不安解消を含む）が必要であり、県民の受入インセンティブに繋がる施策も検討してはどうか。 ・外国人観光客に対する県民の意識が、本事業により、どの程度有効に作用したのか検証することも検討してはどうか。 ・外国人観光客に対し、開発した受入ツールや受入体制の認知度を高める方策も検討してはどうか。 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・食の多様性を促進するためには、飲食店等の調理側だけではなく、食材提供側の理解度向上も必要と考える。 ・顧客ニーズの詳細な把握のため、外国人観光客の出発地に所在する旅行事業者等へのアンケートやヒアリングの実施による質的調査も検討してはどうか。 ・成果目標について、年数経過とともに目標値を高くするなど事業の質が改善していくことを前提に設定することも検討してはどうか。また、主観的なアンケートによるサービスの質の観点だけではなく、コスト面を踏まえた効率性の観点（アウトカム一単位当たりのコスト等）を加えることも検討してはどうか。 |
| <p>【沖縄県】 子育て総合支援 モデル事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする児童生徒への周知・呼びかけを強化するため、他の部署や組織との連携も検討してはどうか。 ・児童生徒に身近であり、憧れの対象ともなる大学生との連携も有効であると考え。 ・離島や北部地域に在住する又は通うことを躊躇する児童生徒に対しては、オンライン授業を積極的に活用することも検討してはどうか。 ・「設置型無料塾による支援」と「対象者への支援員の派遣及び教育バウチャーによる支援」を比較し、どちらが効率的・効果的な支援に繋がるかを比較しても良いのではないか。 ・成果目標の目標値については、実績値を踏まえ、より高く変更することも検討してはどうか。 ・設置型無料塾で行われている教育の質を担保するため、確認できる方策を設けることも検討してはどうか。 ・支援対象であることを周囲に知られたくないために事業を利用しない児童生徒の割合を調査し、そのような児童生徒へのアプローチの方策も検討してはどうか。 |
| <p>【沖縄市】 産業集積推進事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・相談やセミナー等の実施方法について、オンラインや対面それぞれに適した内容や方法があるので、うまく組み合わせることでより効果的な実施が可能と考える。 ・事業効果を測るために、創業支援者数や空店舗利用者数の増加が、沖縄市の失業率改善や企業誘致等にどの程度寄与しているのかを把握することも検討してはどうか。 ・創業支援した事業の継続的なフォローアップや支援終了後の持続的効果維持のためのガイドライン等の作成等も検討してはどうか。 ・開業率・廃業率が全国平均より高いことを踏まえ、創業後の継続年数（創業年数）を成果目標として用いることも検討してはどうか。 ・相談者が求めるニーズをどの程度満たしていたのか、利用者側からの充実度を成果目標に加えることも検討してはどうか。 ・セミナー方式と個別相談方式の件数は別々にカウントし、有効性等の検証に活用して欲しい。 |
| <p>【名護市】 名護市自転車まち づくり推進事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の駐輪場の整備、レンタル自転車の普及のほか、自転車利用台数の増加を促進するための施策（例えば、住民の自転車利用等を促すインセンティブ等）も合わせて実施することも検討してはどうか。 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・他市において、健康促進等の目的と併せて自転車利用促進を図っており、それを参考に、市民の健康増進に関する成果目標を加えることも検討してはどうか。また、他市の同様の取組と効果や効率を比較することも検討してはどうか。 ・整備された自転車指導レーンを活用した事業や市民へのアンケート等を通じて、認知度や利用者数を確認することも検討してはどうか。 ・自動車通行量が減らないと低炭素社会の実現には寄与しないので、自転車と自動車それぞれの通行量の増減を比較し、成果を測ることも検討してはどうか。 |
| <p>【宜野座村】 有機の里宜野座村 確立事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市場の開拓、一般消費者の認知度向上が、生産者（エコファーマー）のインセンティブとなるので、県内外への販路拡大に向け、ブランディングを含めたマーケティング戦略について、民間企業との連携も含め、更に強化して欲しい。 ・新規就農者と移住政策を連携させることは、生産者（エコファーマー）の増加に寄与すると考える。 ・エコ農産物の生産面積の拡大や生産者（エコファーマー）の収入状況も成果目標として加えることも検討してはどうか。 ・エコ農産物の販売実績に対する本事業の影響について、天候に左右される面があることを踏まえた上で、丁寧に検証してはどうか。 |

沖縄振興交付金事業等の内閣府点検評価結果
(令和4年度 事後評価)

| 事業名 | 留意事項 |
|----------------------------|---|
| 【沖縄県】 グローバル産業 人材育成事業 | <ul style="list-style-type: none">・研修の実施方法について、オンラインや対面それぞれに適した内容や方法があるので、うまく組み合わせることでより効果的な実施が可能と考える。・参加者全員が主体的に考え、多くの意見交換を可能とすることで、より効果的な研修になると考える。・研修の受講だけで「グローバル人材」になることは難しく、事業の有効性を高めるため、受講者への継続的な支援を行うことも検討してはどうか。・人的資源に乏しい企業への求人開拓（県外からの移住転職希望者とのマッチング等も含む）も同時に行うことも検討してはどうか。・アンケート結果の「効果がなかった」という回答については十分な精査を行い、今後の改善に繋げて欲しい。・活用企業の海外展開等がどの程度進展したのか等、アンケート以外を成果目標に加えることも検討してはどうか。・研修効果を高めるために、成果目標をより細かく丁寧に設定し、研修内容や研修方法による成果の違いを検証してはどうか。 |